

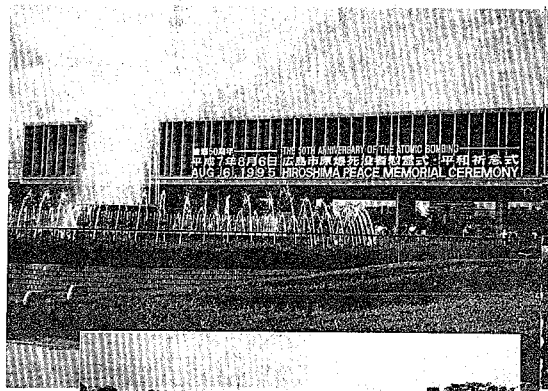
風間 望 (第二中学校3年)



被爆者は日本人だけではなく、多くの韓国人もそうだったことを知り、自分の中で「日本人だけ…」という考えがあったことを反省しました。戦争は世界中の多くの人を苦しめたことを知りました。それと同時に、平和の意味が少しだけ分かったような気がします。

それは、今現在そのままなのではないでしょうか。当たり前なのですが、家族や友達と共にうれしさや喜びを感じることができている今が「平和」なのでは。戦時中は「ぜいたくは敵だ」といった教育があったそうです。多分本当の「ぜいたく」とは「平和」ということだと思います。なぜなら、戦時中、人々は平和のぜいたくをすることもできなかったことを知ったからです。

本当の「ぜいたく」とは「平和」ではないでしょうか



平和記念式典には六万人の人々が参列



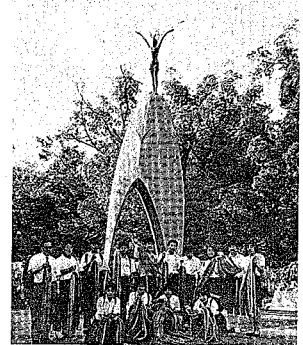
平和への誓いを新たに

中学生の平和研修レポート

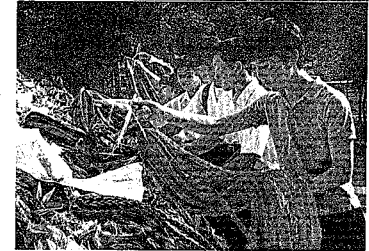
1945年8月6日、一発の原子爆弾は一瞬にして広島街を壊滅させ、多くの尊い人命を奪い去りました。あの日から50年、核兵器は未だ地球上に存在し、核軍縮の動きはあっても、核実験を続ける国があります。

市では、平和の尊さを学び、核兵器の恐ろしさを伝えていくために、中学生の被爆地研修を行っています。今年は、非核平和都市宣言10周年を記念し、市内の中学校から12名の生徒代表を広島に派遣するとともに、市民の皆さんから平和への願いを込めて折っていただいた折り鶴8万羽を、平和記念公園の原爆の子の像に捧げました。

今号では、この研修に参加した中学生の体験レポートをご紹介します。



市民の皆さんが折った折り鶴8万羽を捧げました



岡村 雄亮 (第五中学校3年)



非核平和研修で広島に行くことになったが、ほかの学校の生徒と仲良くなれるかが心配だった。新津駅から電車に乗って広島まで行く間、最初はほとんど無言で動くこともできなかったが、徐々に緊張が緩み、気持ちも軽くなってきた。

新津市民の皆さんが折った折り鶴を供えてから、原爆資料館へ行った。戦争の嫌な空気が漂ってきそうなく、悲惨さを感じた。

その一方、広島夜景はとても素晴らしい。距離が遠くなるにつれて、光が一本の道のように思えてきた。こんなきれいな景色に、原子爆弾が落とされたら……と考えるとゾッとしてしまう。

帰りの車中では、行くときと打って変わって、緊張なんて全くなかった。

戦争の嫌な空気が漂ってきそうなく、悲惨な原爆資料館

大口 一仁 (第二中学校3年)



平和祈念式典に参列して、まず外国人の多さに驚いた。僕は思った。(この人たちはどういう気持ちで、この式典に参列するのだろうか。特にアメリカ人は、自分たちの国が日本に原爆を投下したことでこの式典が催されているわけだし、罪悪感とか感じているのだろうか)と。

でも僕はそこで責任にかられる必要はないと思う。原爆を投下したのはあくまで彼らの先祖であって、彼らではない。彼らには何の責任もない僕は思う。そんなことを考えていたら、運命の8時15分になり、会場に「黙とう。」の音が響いた。(ちょうど50年前の今、「広島」は「ヒロシマ」に変わったんだ)そう思うと今、自分はすごく歴史的な時間を過ごしているような気がしていた。

50年前の8時15分「広島」は「ヒロシマ」に変わった

梅津 寛子 (第一中学校3年)



ヒロシマは平和を強く訴えていました。そこには、原爆ドームや平和記念資料館のおぞましい写真など、さまざまなものがあつたけれど、その実は「平和」という言葉に強い望みを持っているのだと思います。

私も原爆はとても怖い、戦争だってやっばい怖いし、やりたくありません。でも、怖がっているだけでは進まない。平和を築くためにはどうしたらよいか。そのことが一番大切なことだということを知りました。核実験の話題や紛争など、やはり今でも私たちのまわりは、完全なる平和とは言えません。私は、今回の体験で一人の地球人として、少し成長することができたと感じています。

平和を強く訴えていたヒロシマ

笠原 一哉 (第一中学校3年)



今までに何度もテレビや本などで見た、原爆の落ちた広島に行くとき、広島に行くという観光気分と、原爆の悲惨さと戦争のむごさははっきり見てこなければならぬという責任感の入り混じった複雑な気持ちでした。

8月5日、長い時間電車に乗って広島に着いた後、原爆資料館を見ました。原爆資料館の中には、原爆の落ちる前と落ちた後の広島町の模型や、被爆後の状況、原爆の大きさや構造などがあり、中でも遺品や火傷を負った人が流れて落ちている人形は、ビデオなどで見たよりもすさまじく、悲惨でした。

この3日間の研修は、多くの人たちと出会い、戦争と被爆の実態を知ることのできた貴重な体験でした。

原爆の悲惨さと戦争のむごさははっきり見て

お買物、ご用命は市内で

補聴器や聴こえでお悩みの方へ

定例
巡回
相談

新津市本町2番館 (旧市役所)
2階和室会議室
毎週水曜日 午前10時～10時半

聴力の適合測定、修理、点検、装用相談
リオネット新潟 ☎025(224)2228 出張可

料理
大盛りになった!

本町2 横浜亭 ☎22-2225

お買物、ご用命は市内で

総額1,000万円が抽選で当たる!!

特賞

ハワイ旅行をペアで
15組(30名)様ご招待!!

6/15▶10/31

豊まつり

品質
保証付

新量 15,000円

表替 8,500円

(各税別)

● 貴方が自信を持っておすすめする品物です

新津豊協同組合
☎22-7923